

平成29年3月15日

保護者の皆様へ

鳴門市明神小学校長
阿部 隆博

平成28年度学校アンケートについて

日頃は、本校教育にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。本年度の児童・保護者アンケートの結果と改善策等をお知らせします。

次年度に生かしていきたいと思っております。ご協力ありがとうございました。

1 本年度の学校アンケート結果について

アンケート番号 ○：良好 △：課題

↓

(1) 学力について 児童 1, 2, 3 保護者 1, 2, 3

○ 本年度、学力向上のために、全教職員が課題意識を持ち、指導方法の工夫・改善に取り組んだ結果、概ね良好であると思われる。

△ 児3では、思い通りの点数が取れている62%とやや低い。

改善策 指導方法の工夫・改善をさらに進め、より分かる授業を目指すとともに、個に応じた指導に努め、学力の定着を図る。

(2) 体力づくりについて 児童4 保護者4

○ 児童は、休み時間や昼休み、始業前に、運動場で外遊びをしている。

元気っ子タイムを設定し、異学年集団で運動する場を設けている。

業間持久走（全員）、体操・水泳・陸上等への練習の自主的参加（希望者）

△ 運動する子としない子の2極化が進んでいる。運動しない子は、少数であるが肥満傾向にある児童が多い。

改善策 特に肥満傾向にある児童に関しては、運動する習慣を身に付けさせるとともに、家庭とも連携して、バランスの取れた食事やおやつの見直し等、食生活の改善も必要である。徒歩通学も推奨していきたい。

(3) 基本的な生活習慣について 児童13, 14, 15 保護者11, 13

○ 挨拶は、年度当初に比べて良くなってきた。

あいさつ運動や週のめあてに取り入れて、全校体制で取り組んできた成果が出始めている。

△ 学校の来客等への挨拶は、自主的にできる児童がまだまだ少ない。

決まった時間に起きられている児童の割合がやや少ない。

改善策 相手の目を見て、きちんと挨拶できるよう全教職員で声をかけ、指導を徹底する。家庭・地域へのよびかけをもっと行う。

(4) 基本的な学習習慣について 児童5, 6, 7, 8 保護者6

○ 基本的な学習習慣は身につけている児童が多い。家庭学習もできている。

△ 授業に集中できない児童もいるが、教室内を見回り、個別指導で対応している。

改善策 家庭学習の手引きを見直し、分かりやすく・使いやすいものにした。今後も見直し、充実させていきたい。

(5) 規範意識について 児童24 保護者12, 18

○ きまりを守る意識は高い。

△ 廊下を正しく歩いたり、トイレのスリッパを揃えたりすることは苦手な傾向にある。

改善策 学校や家庭で基本的な生活習慣を身につけさせるとともに、学校や社会のきまりを守る意識を高める指導やしつけを行う。裏面に続く→

(6) いじめや生徒指導の問題について 児童23 保護者20

○ 「いじめは絶対にしない・させない・許さない」を合い言葉に、全教職員で学校生活を見守っている。不適切な言動については、その場で注意。

△ 普段の学校生活はもとより、校外（児童クラブ・スポーツ少年団・休日）で起こるケースがある。

改善策 いじめアンケートを行い、回答内容を調査し、速やかに対応するよう心がけている。
児童クラブやスポーツ少年団とも連携を図る。

(7) 自尊感情について 児童9, 10 保護者7, 8

○ 約8割が自尊感情を持っている。

△ 勉強や運動の苦手な児童は低い傾向にある。

改善策 よいことをしたとき、頑張ったときにはもっとほめる。自己肯定感や有用感を高める指導に努める。

(8) 読書について 児童26 保護者25

○ 読書タイムを設け、読書に親しませている。読書好きな児童は、毎日のように図書室で読書をしている。

△ 読書をする習慣が身につけていない。活字ばなれ。絵やイラストの多い本を選ぶ傾向にある。

改善策 図書館サポーターやボランティアの方々が、図書室の環境を整備してくれている。
児童にとって、魅力のある図書の充実を図る。家庭読書の日を設ける。
新聞に親しませる機会を増やす。
図書数を増やしたいが、書架等をおけるスペースが図書室には無く、学級文庫等で対応。

(9) 安全・防災について 児童21, 22 保護者18, 19

○ 交通ルールを守ることは、児童も自覚し、保護者も指導してくれている。

避難訓練時には、真剣に取り組んでいる。

△ たまに登校・下校時に、横断歩道や歩道橋を渡らない児童がいて注意した。

改善策 巨大地震・津波に備えて、自分の命は自分で守ることを基本として、防災意識を高める。
親子で参加できる防災教室等を参観日に企画する。

(10) 学校生活について 児童20 保護者17

○ 楽しく、学校生活を送っている児童が多い。

△ 不登校児童はいないが、諸事情で登校を渋りがちな児童は少数いる。担任は保護者と連絡を取り合い、登校を促し、登校できている。

改善策 場合によっては、スクールカウンセラーとも連携し、対応している。

(11) その他

・地域行事への参加 児童18 保護者24 7～8割 地域の伝統や文化に触れる機会を増やす。

・子どもと将来のことを話す 保護者15 7割 子どもの自立心を育て、将来への展望をもたせる。

・学校スローガン 保護者23 毎回学校だよりに掲載しているが、認知率が低い。
平成29年度瀬戸中校区の「めざす子ども像」とともに広報に努める。